

科目名	セーフティニーズへの介護					単位	2.0
担当教員	村上 逸人						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	1512

●授業のテーマ

どのような状態であっても自立に向けて介護が必要な人の特徴とその人らしい生活環境について理解をする。

●到達目標

尊厳の保持と自立支援の考え方や、介護が必要な人の安全な生活環境について考え理解する。ICF の考え方を介護が必要な人のアセスメントに活かすとともに的確な介護の技法について判断できる。

●学習内容(授業概要)

介護が必要な人の特徴と生活環境について理解し、QOL やノーマライゼーションの考え方、利用者主体と自立支援を ICF の視点から学ぶ。

介護が必要な人の多様性や複雑性を理解するとともに、そのくらしと生活環境を理解し必要な自立へ向けての身じたくや整容、安全で的確な移動・移乗の介護サービスについて学ぶ。

●学習内容(授業計画)

- 1 自立に向けた身じたくの介護（身じたくの意義と目的）
- 2 自立に向けた身じたくの介護（身じたくに関する利用者のアセスメント）
- 3 自立に向けた身じたくの介護（利用者主体の考え方とその実現、生活習慣）
- 4 自立に向けた身じたくの介護（自己決定と自立支援、生活意欲への働きかけ、装いの楽しみを支える）
- 5 自立に向けた身じたくの介護（整容行為、洗面、整髪、ひげの手入れ、爪、化粧等）
- 6 自立に向けた身じたくの介護（口腔ケア）
- 7 自立に向けた身じたくの介護（衣服の着脱）
- 8 自立に向けた移動の介護（移動の意義と目的）
- 9 自立に向けた移動の介護（移動に関する利用者のアセスメント）
- 10 自立に向けた移動の介護（安全で気兼ねなく動けることを支える介護）
- 11 自立に向けた移動の介護（安全で的確な移動の介護）
- 12 自立に向けた移動の介護（安全で的確な移乗の介護）

- 13 自立に向けた移動の介護（安全で的確な歩行介護）
- 14 自立に向けた移動の介護（安全で的確な車椅子の介護）
- 15 自立に向けた移動の介護（安全で的確な体位変換の介護）

●準備学習・事後学習の内容

授業のテーマに沿った部分について、下調べをしてくる。
授業のまとめと、ポイントについてノートにまとめておく。

●成績評価方法・基準

小テスト 20%、試験 80%

●テキスト（必携）

是枝祥子「生活支援技術Ⅱ」中央法規

●参考文献／その他

その都度紹介する。

●履修上の注意

プリントはファイルに綴じておく。